

平成 17 年 8 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社夢真ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 鎌田 博史  
(コード番号 2362 大証ヘラクレス)  
問 合 せ 先 財務経理部 部長 島田 健司  
(TEL 03-3983-5664)

### 日本技術開発株式会社に対する当面の方針について

当社は、平成 17 年 8 月 13 日付プレスリリース「公開買付けの結果に関するお知らせ」において、日本技術開発株式会社（コード番号 9626, 96261 ジャスダック上場、以下「日本技術開発」といいます。）の株式に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）の結果について公表しておりますが、本公開買付けの結果を受けた当社の当面の方針を以下の通りといたしますのでお知らせ致します。

#### 記

#### 1. 筆頭株主として定時株主総会へ積極的に関与してゆくこと

当社は、本公開買付けの結果、日本技術開発株式の 10.59%（議決権ベースで 11.66%）を保有する筆頭株主となりますが、かかる本公開買付けの結果につきましては、公開買付け期間中の株式分割により、市場が混乱し、株価が暴騰したことが大きく影響しております。当社としては、このような事情により、本公開買付けを通じて日本技術開発の株主様の意思を問うという当初の目的を果たせなかった点を大変残念であると考えております。

しかしながら、当初数十件にも及ぶ法人株主からの問い合わせがあり、株価暴騰後に応募がキャンセルされた点、及びかかる市場環境にもかかわらず一部の法人株主からは本公開買付けに応募していただいている点からは、日本技術開発の株主の皆様は同社経営陣を信任していないことも明らかとなりました。

この点を踏まえ、当社としては、社外取締役の導入等、株主の意思が会社の経営に反映されるガバナンス体制が構築されるよう、日本技術開発の筆頭株主として、来る 9 月に開催されるべき日本技術開発の定時株主総会に積極的に関与してゆく方針です。

## 2. 繰り返し、会計帳簿の閲覧を求めていくこと

当社は日本技術開発に対し、繰り返し会計の帳簿及び資料の閲覧及び謄写を求めておりましたが、昨日、同社より、「 年 月 日の決算において計上されている 項目の金額 円は、不当に高額であるから、その内容及び発生理由について調査するため」というように閲覧等の理由を具体的に示さない限り当社の請求には応じられない旨の回答を得ました。

これは、日本技術開発がこれまで当社に対し、「短期・中期の業績の見込み及びその前提とした事項」「人事・雇用政策」「配当政策・資本政策」等、財務状況に関する正確な数字なしには策定することのできない事項を提示するよう求めてきたことと矛盾する不当な回答というより他ありません。

他方、株式会社エイトコンサルタント（コード番号 4742 東証第二部上場、以下「エイトコンサルタント」といいます。）は、その開示資料（平成 17 年 8 月 5 日付「必要情報のご提供」）において、日本技術開発株式取得の前提条件として「8 月 1 日付守秘義務契約書にもとづき、これまで弊社が JEC より受領した情報・資料の内容が正確であること」を挙げており、日本技術開発の現経営陣がエイトコンサルタントに対しては情報開示を行っていることが明らかです。日本技術開発の現経営陣が当社とエイトコンサルタントを情報開示においてこのように差別することは、非常にアンフェアであり、日本技術開発の株主の選択肢を理由なく歪める行為といえます。

当社としては、日本技術開発に対し、繰り返し、同社の現経営陣が経営を委ねられるに相応しいかどうかについて現に争いが生じているという状況の特異性及びこれまで同社が当社に対し詳細な事業計画の開示を求めてきたという経緯を踏まえて、当社に対して会計帳簿等を開示するよう求めていく所存です。

以 上